~~第１号議案~~

令和３年度　事業報告~~（案）~~

自　令和３年　４月　１日
至　平成４年　３月３１日

社会福祉法人　名古屋市守山区社会福祉協議会

目　　次

主な活動及び事業

1　法人運営　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

2　広報・啓発活動　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

3　「第４次守山区地域福祉活動計画」の推進　・・・・　3

4　地域福祉活動　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6

5　ボランティア給食サービス事業　・・・・・・・・・　１３

6　ボランティア活動　・・・・・・・・・・・・・・・・・　１５

7　在宅福祉関係事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・　１８

8　生活福祉資金貸付事業　・・・・・・・・・・・・・・・　２４

9　心配ごと相談事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・　２４

10　在宅サービスセンターの運営　・・・・・・・・・・・　２５

11　児童館・福祉会館の管理運営　・・・・・・・・・・・　２６

12　共同募金運動への協力　・・・・・・・・・・・・・・・　２８

1　法人運営

理事会、評議員会等

１　理事会

開催回	開催月日	会　場	主な議事内容
8	【書面によるみなし決議】 令和３年６月１１日（金）	―	・　令和２年度事業報告 ・　令和２年度決算 ・　評議員候補者の推薦の提案 ・　役員候補者の推薦の提案 ・　評議員選任・解任委員の選任 ・　評議員会みなし決議(第４回)の実施 ・　評議員選任・解任委員会みなし決議(第１回)実施
9	【書面によるみなし決議】 令和３年６月２５日（金）	―	・　会長・副会長の選定 ・　顧問の決議
１０	【書面によるみなし決議】 令和３年１２月２０日（月）	―	・　令和３年度資金収支補正予算 ・　諸規程の一部改正 ・　第 63 回評議員会の招集
１１	【書面によるみなし決議】 令和４年３月２８日（月）	―	・　令和３年度資金収支補正予算 ・　理事候補者の推薦の提案 ・　評議員候補者の推薦の提案 ・　諸規程の一部改正 ・　市高齢者はつらつ長寿推進事業の契約の締結 ・　市社協、区社協の防災対策に関する協定の締結 ・　役員等賠償責任保険契約への加入 ・　令和４年度事業計画 ・　令和４年度資金収支予算 ・　評議員会みなし決議（第６回）開催

２　評議員会

開催回	開催月日	会　場	主な議事内容
4	【書面によるみなし決議】 令和３年６月２１日（月）	―	・　令和２年度事業報告 ・　令和２年度決算 ・　役員の選任
5	【書面によるみなし決議】 令和３年１２月２０日（月）	―	・　令和３年度資金収支補正予算
6	【書面によるみなし決議】 令和４年３月２８日（月）	―	・　令和３年度資金収支補正予算 ・　理事の選任 ・　令和４年度事業計画 ・　令和４年度資金収支予算

３　評議員選任・解任委員会

開催回	開催月日	会　場	主な議事内容
1	【書面によるみなし決議】 令和３年６月１５日（火）	―	・　新評議員５名の選任
2	【書面によるみなし決議】 令和４年３月３０日（水）	―	・　新評議員１名の選任

４　監事監査

事項	開催月日 出席状況	会　場	主な議事内容
監事監査	令和３年６月３日（木） ・監事２名	在宅ｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ 相談室（大）	・　事業報告等の監査 （理事の職務の遂行に関する監査） ・　計算関係書類及び財産目録の監査

２　広報・啓発活動

１　福祉情報紙「社協だより」の発行

区内の福祉情報や本会の活動内容等を掲載した広報紙を区内全域に配布しました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、夏号（７月）の発行を見送り、春号（２月）に発行しました。

【発行実績】

vol．９０（令和４年２月）　７０，０００部

広報紙「社協だより」

２　「ホームページ」の運営

本会の取り組みや、最新の福祉情報を本会ホームページへ掲載し、区民の皆様等へ情報を発信いたしました。

【アクセス件数】

７０，２３８件（月平均５，８５３件）

＊小数点以下四捨五入

守山区社会福祉協議会ホームページ

「福祉情報設置店」の設置・推進

喫茶店や郵便局などの身近な場所で、区民の皆様に役立つ福祉情報が入手できる福祉情報設置店の設置を推進しました。

「設置店サポーター」と呼ばれるボランティアが、定期的に設置店へ情報誌等をお届けしました。

【設置店】　　６１ヶ所
【設置店サポーター】　２２名

福祉情報の設置

３　第４次守山区地域福祉活動計画」の推進

誰もが安心して暮らせる“福祉のまち守山”を目指し、地域住民やボランティア、福祉関係機関・団体、福祉サービス事業者や行政などの多様な機関が連携・協働して、地域生活課題を抱えた人々や世帯を支援する取り組み等を計画的に行っており、令和３年度は計画３年目の年となりました。（計画期間：令和元年度～令和５年度）

令和３年度は、計画全体の推進・進捗状況確認・評価を行う「推進委員会」を対面で開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により書面による開催となりました。また、各プロジェクトチームでは、コロナ禍でも活動できる取り組みなどを検討しました。

１　会議等開催状況

１）推進委員会

令和４年３月（新型コロナウイルスにかかるまん延防止等重点措置の発令に伴い書面開催）

（２）プロジェクトチーム（※）

※計画事業について、実施に向けた具体策の検討や事業を実施するグループ

	プロジェクト会議開催日						
しごとづくりＰＴ(15 名)	5/28	7/27	10/27	11/24	3/22		
子どもの活躍場ＰＴ(7 名)	4/28	6/28	8/25	10/1（審査会含む）	11/4	2/3	
健康づくりＰＴ(8 名)	6/28	8/3	9/8	10/18	12/1	1/21	3/18
つながりづくりＰＴ(15 名)	11/16	12/17	1/14	2/24			

＜しごとづくりプロジェクトチーム＞

年齢や障がいの有無などに関係なく、誰もが特技や技能などを発揮し、活躍できる場を創設し、社会参加や生きがいづくりを目指す

①地域の人が集える居場所づくり

＊「②緑地資源を活用した多世代交流活動」と連携した居場所づくりを検討・試行実施

②緑地資源を活用した多世代交流

＊多世代協働による「ライ麦ストロー＆ヒンメリづくり」及び「リースづくり」を検討・試行実施

しごとづくりプロジェクト会議

プロジェクトのロゴ

ライ麦ストロー

リースのつるを収穫

クリスマスリースづくり

＜子どもの活躍場づくりプロジェクトチーム＞

子どもたちが主役となり企画・実施するさまざまな体験をとおし、社会性・自主性を養いながら、心身の成長を目指す

① 子どもから発信する地域福祉活動

＊18 歳以下を対象とした「手づくりえほん作品」募集を行い、20 作品もの応募をいただきました。
全作品の展示会実施、優秀 3 作品は「えほん読み聞かせ動画」を作成 YouTube へ投稿、最優秀作 1 作品は製本して区内各所へ配布しました。
また、応募者へアンケートを実施し、「次回も応募したい」といった声が多く寄せられました。

子どもの活躍場づくり
プロジェクト会議

手づくりえほん応募作品

最優秀作品「あなたはなんの金メダル？」と受賞された３名

② 子どもが担う地域活動
＊「学区防災訓練等で子どもが主体的に活動する場」や、学習支援の「子ども寺子屋」を検討しました。

＜健康づくりプロジェクトチーム＞

万人のニーズである“健康”をツールとしたプロジェクトをとおして、区民の健康維持・健康増進を図るとともに、新たな層への福祉への関わりを推進する

① 誰もが楽しめる健康づくり
＊「誰でも参加できるなんでもウォークラリー」と題し、歩き・車いす・バーチャル等、どんな形でも参加できるウォークラリーを開催。
掲示板部門２６件、Instagram部門６９件ご参加いただき、それぞれ上位3名に景品を贈呈しました。

「誰でも参加できるなんでもウォークラリー」掲示板部門

Instagram 部門１位の方へ景品をお渡し

② 種から育む健康な食生活
＊「じゃがいもを作って地域貢献しよう！」をテーマに「守山区じゃがいもプロジェクト」を実施。
春植えじゃがいもの種芋を2～3月に先着18名に配布し、その成長過程を掲示板・Instagramで共有。収穫物は自分たちで調理をしたり、地域の子ども食堂等へ寄付をしていただく仕組み。

健康づくりプロジェクト会議

「誰でも参加できるじゃがいもプロジェクト」

＜つながりづくりプロジェクトチーム＞

守山区の福祉情報をより多様な区民に届けるための広報戦略を検討するとともに、学びの場を提供しながら区民の関心を広げ、様々な情報を通して地域の中で皆がつながるきっかけづくりを目指す

①多様な層に伝える広報の実施
＊ＳＮＳ（インスタグラム、ツイッター等）を活用した広報、既存の広報媒体の活用用法を検討

②福祉学習を通したつながりづくり
＊ちょっといいお話し会「白い杖を握って歩う！～ロシア人留学生の夢とホンネトーク～」を検討・企画（諸般の事情により延期）
＊災害（防災）を通したつながりづくりの検討

つながりづくりプロジェクト会議

視覚障害のニキータさんと打ち合わせ

４　地域福祉活動

１　学区地域福祉推進協議会（推進協）への支援

各小学校単位に設置された地域福祉活動の推進組織である「学区地域福祉推進協議会（推進協）」の活動について、本会の学区担当職員等が、コロナ禍の影響や学区の特色や実状を踏まえた支援を行いました。

なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、例年３月に開催している地域福祉推進協議会研修会・事務連絡会を中止しました。

２　名古屋市地域支えあい事業の推進（名古屋市受託事業）

守山区では５学区の推進協が、高齢者や障がい者、子育て世代等住民のちょっとした困りごとの相談を受け付け、ご近所同士の助けあいによって困りごとの解決を図るなど、地域のつながりづくりを進めました。

また、学区単位で行う「活動連絡会議」などを通じて、住民や専門職などが地域の福祉課題やその解決に向けて話し合いが行われました。

学区担当職員が実施学区へ訪問し、本事業の活動を支援しました。

実施学区	登録ﾎﾞﾗ数	活動延人数	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱﾎﾟｲﾝﾄ数	生活支援の主な内容
本地丘	25 名	803 名	3,029 P	買い物等
吉根	35 名	235 名	770 P	家具等移動、庭木の剪定・草取り等
白沢	54 名	622 名	5,055 P	外出支援、家具等移動、買い物支援、小修繕、掃除、庭木の剪定・草取り等
大森北	43 名	495 名	1,610 P	小修繕、ごみ出し、買い物支援、庭木の剪定・草取り等
小幡北	57 名	524 名	1,454 P	小修繕、ごみ出し、家具等移動、庭木の剪定・草取り等

※ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱﾎﾟｲﾝﾄ…学区で認定された支えあいﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動によって付与、ﾎﾟｲﾝﾄは現金に換算され（1P=10 円）、推進協等へ還元されます。

助けあい活動
枝切り（吉根学区）

助けあい活動
網戸の張り替え
（小幡北学区）

学区相談窓口（本地丘学区）

協議の場・活動連絡会議（大森北学区）

協議の場・活動連絡会議（白沢学区）

＜守山区地域支えあい事業研修交流会＞

【開催日】令和３年９月１日（金）
【参加者】１２名（事業実施５学区のご近所ボランティアコーディネーター等）
【内　容】「いきがい・助け合いサミット」全体シンポジウムのライブ配信視聴後、「守山区の地域生活課題の解決に向けた今とこれから」について意見交換を行う予定でしたが、コロナにより集合開催を中止し、個別に全体シンポジウムを視聴していただきました。視聴後、参加者がイメージする「こんな守山区になるといいな」といったご意見を集約し共有しました。

シンポジウムのライブ配信

３　「ふれあい・いきいきサロン」の推進及び、生活支援の仕組みづくり検討

地域の住民同士のつながりや仲間づくり、地域の生活課題への気づきや身近な相談拠点ともなり得るサロン（たまり場）づくりの支援を、財政面も含め行いました。

新型コロナウイルスの影響が続く中、コロナ関連の情報提供に努めるとともに、サロン運営者（108 か所）へアンケートをお送りし、実施状況をお聞きしました。回答者（88 か所）のうち、７割弱のサロンで「開催している（予定を含む）」との回答がありました。感染対策に努めて開催していただいていますが、スペースの都合により十分な距離を保つことの難しさや、コロナ禍で長い間休みだったため年齢的に体調が悪化してお休みされる方もみえるとの声が寄せられました。

また、講師を呼ぶことが難しくプログラムも単調になりがちといった声を受けて「サロンで簡単に実施できるレクリエーション集」を作成し配布しました。

さらに、コロナ禍におけるボランティアの活動の幅を広げるきっかけになることを期待し、サロン運営者をはじめとしたボランティアを対象に、「スマートフォン体験講座」と「Zoom 体験講座」を開催しました。

（１）新設サロン

名　称	実施学区
東海つばめ学習会　トレジャーシップ教室	下志段味

トレジャーシップ教室
無料塾×子ども食堂

（２）本会運営のサロン

愛知県健康づくりリーダーと連携し、本会及びコープ小幡店の２会場で「わいわいサロン」を実施する計画でしたが、新型コロナウイルスの影響でコープ会場での開催は中止となり、本会会場で５回開催しました。

実施会場	実施回数	延べ参加者数
本会研修室	５回	４１名

（３）生活支援専門部会の開催

将来の地域相談機能の拠点となり得る、地域交流の場としてのサロンの拡充・基盤づくりや、生活支援活動を行うボランティア支援等について、関係機関や地域住民、行政等と検討する部会を年３回開催しました。

開催日	〈検討・実践・報告〉内容	参加者数
９月１日	【個別視聴】 ・いきがい・助け合いサミット in 神奈川　全体シンポジウム「幸せな人生と社会に不可欠な生きがいと助け合い」	１０名
１２月２２日	【対面開催】 ・地域共生社会の実現に向けた「重層的支援体制整備事業」について ・「いきがい・助け合いサミット」全体シンポジウム視聴後アンケート結果を踏まえた意見交換	１７名
２月２８日	【書面開催】 ・次年度事業計画について ・令和４年度に新たに取り組む（取り組むと良いと思う）事業について	－

（４）サロン運営者向けの活動

新型コロナウィルスの影響下にあるサロン活動において「講師を呼べない」「何をしたらよいのかわからない」などのご相談が多く寄せられました。

そこで「困ったときに！サロンで使えるレクリエーション集」を作成し、区内サロン運営者へお送りして情報提供を行いました。

困ったときに！サロンで使えるレクリエーション集

（５）サロン運営者、ボランティアを対象とした講座を開催

Ｚｏｏｍ体験講座【全２回　２３名参加】

開催日	午前の部	午後の部	参加者数
１１月７日	１２名	１１名	計２３名

スマートフォン体験講座【全８回　６９名参加】

開催日	午前の部	午後の部	参加者数
７月１６日	８名	８名	計１６名
７月１９日	９名	１１名	計２０名
１１月５日	８名	７名	計１５名
１２月７日	１１名	７名	計１８名
２月１日	新型コロナウィルス感染拡大のため中止		
２月７日			

ZOOM 体験講座

スマートフォン体験講座

４　「高齢者はつらつ長寿推進事業」の実施（名古屋市受託事業）

市内にお住まいの６５歳以上の高齢者を対象に、健康増進活動やレク、脳トレ、創作などを行い、仲間づくり・介護・認知症予防やフレイル対策への理解を促し、社会参加促進を目的としてサポーターさんのご協力のもと週４日、区内８会場で実施をしています。

昨年に続き令和 3 年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加者の安全と健康を最優先に考慮し、下記の期間事業を中止しました。

再開時は名古屋市からの感染対策の取り扱いに従い、消毒・換気対策の他、密集・密接を避けるため、実施時間の短縮、狭小会場は二部制にして参加人数を半分にして実施しました。

《手作りうちわ創作作品》
配食サービス利用者へプレゼント及び展示を行いました

【実施状況】※…コロナ対策の為、二部制にして実施した会場

学　区	会　場	事業開始日	実施曜日	参加登録者数 前期	参加登録者数 後期	年間延べ参加者数
白　沢	川嶋神社会館	平成18年10月2日	月	25 名	25 名	334 名
廿軒家	廿軒家会館 ※			25 名	25 名	372 名
森孝西	森孝西コミセン ※	平成18年10月4日	水	25 名	26 名	325 名
小幡北	小幡北コミセン			18 名	14 名	172 名

志段味東	志段味東コミセン	平成18年 10月5日	木	21 名	20 名	300 名
苗　代	本会研修室 ※			25 名	25 名	321 名
瀬　古	平成会館	平成18年 10月6日	金	21 名	19 名	250 名
大森北	大森北コミセン※			23 名	17 名	238 名
合　　計				183 名	171 名	2,312 名

【新型コロナウイルス感染拡大に伴う中止期間の取り組み】

中止期間	主な取り組み
令和３年４月 21 日～10 月 17 日 令和４年１月 21 日～3 月 24 日	・電話による相談や安否確認 ・脳トレプリントや毎日健康カレンダー郵送 ・動画（YouTube）を使用した体操や創作の紹介 ・手作りうちわ・お誕生日カードの創作を自宅で行い、見守り対象者へプレゼント ・外出機会へつながる寄付活動や創作展示 ・守山はつらついこみゃあ新聞の発行　他

「楽らく健康体操」YouTube 動画

ボッチャで楽しく

５　「守山区人権尊重のまちづくり事業」の実施（守山区受託事業）

区民一人ひとりの人権が尊重され、差別や偏見のない「人間性豊かなまち・守山」の実現を目指した本事業を守山区から受託実施しました。

令和３年度は、「パラリンピック競技のボッチャを体験しよう！」を開催し、車いすやアイマスクを使用するなど、障がいのある方のプレーも疑似体験していただきました。併せて、授産製品の販売会も実施しました。

ボッチャを体験しよう！

【開催日】令和３年１２月３日
【会　場】守山区役所講堂
【講　師】市障害者スポーツセンター体育指導員
【参加者】４８名

６　各種事業の後援（共催）

社会福祉に関する団体等が実施する、広く区民の社会福祉の増進や啓発に資する事業に対し、後援を行いました。

事　業　名	実施日	主　催	テーマ
全日本ろうあ連盟 創立 70 周年記念映画 「咲む」上映会	８月２１日	守山区聴覚障害者協会	どこでも誰とでも手話言語で話せる共生社会を目指し、映画を通じて知ってもらう

また、コロナ禍で販売機会が減少した区内障がい者福祉施設を応援するため、守山区ボランティア連絡協議会・守山区役所と共催して授産製品販売会「守山にこにこ福祉マルシェ」を開催し、約 300 名の方にご来場いただきました。

守山にこにこ福祉マルシェ

７　各種福祉関係団体への支援・助成等

共同募金配分金を財源として、各団体が実施する事業に助成しました。

令和３年度においても新型コロナウイルス感染拡大の影響により、事業の中止や、例年とは異なる実施方法、代替事業を実施する団体が多くありました。

（１）高齢者関係事業

① 老人クラブ事業

事　　項	実施日・期間	会　場	備　　考
さわやか健康づくり講習会	新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止		
趣味の作品展			
料理講習会			
友愛活動研修会			

② 敬老行事事業

事　　項	実施月	会　　場	備　　考
敬老祝品贈呈事業	新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止		

（２）児童関係事業

① 子ども会事業

事　　項	実施日・月	会　　場	備　　考
キャンプ講習会	新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止		
オリエンテーリング大会			
ソフトボール大会			
自然・歴史体験事業			
子ども会ノート作成	３月３０日	守山区役所	２５０冊

② 保育園事業

事　　項	実施日・期間	会　　場	備　　考
保育園児プラネタリウム見学	７月６日	名古屋市科学館	５９６名
保育まつり	新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止		
保育園卒園児激励	３月１６日～３１日	区内４２園	卒園式祝電

③ 留守家庭児童健全育成事業

事　　項	実施期間	会　　場	備　　考
学童保育所への図書カード等贈呈	３月	―	１７団体

（３）障がい児(者)関係事業

事　　項	実施日	会場等	備　　考
バスハイク	新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止		
親子交流会			
クリスマス会			
卒業生を祝う会	２月７日から約１ヵ月	養護学校始め区内小・中学校	７３名

５ ボランティア給食サービス事業　＊昭和５１年度から開始

１　配食サービスによる見守り活動 等

民生委員や給食ボランティア等と連携し、ひとり暮らし高齢者等へ昼食用弁当を配食しました。

新型コロナウイルスの影響による緊急事態宣言発令中は、活動を一時休止したものの、手渡しによる配食により、安否確認を始め、生活上の困りごと等の把握・解決に努めました。

また、例年１２月に配達している手づくりおせち弁当の代わりに「年末特別弁当」と題した業者弁当を配達しました。

配食による声掛けと見守り活動

（１）「昼食用弁当」等実績

① 配食方式

ア 本会主催　※「利用者数」は、年間の最高利用者数。

項目	員数	備考
利用者数	１６３名	〈配食日〉 志段味地区　週１回（水） 上記以外　週２回（火・木） ※小幡、守山、西城、下志段味、瀬古学区を除く。 〈業者〉日本ケータリング（株） ヤクルト東海（株）
年間配食数	１０，００６食	

イ 学区福祉推進協議会主催　※月１回以上実施学区。　（順不同）

学区	年間配食数	備考
白沢	３４３食	月２回（尾張荘弁当）
志段味東	－	月１回（手作り弁当）※コロナのため中止

② 会食方式　※学区地域福祉推進協議会主催で月１回以上実施学区。　（順不同）

学区	年間提供数	備考
瀬古	１４８食	月２回
大森北	－	月１回※コロナのため中止

（２）新型コロナウイルス緊急事態宣言発令に伴う配食休止期間

第１回：令和３年５月１２日（水）～６月７日（月）　計１１回休止
第２回：令和３年８月２７日（火）～９月２０日（月）計　９回休止

※休止期間については、緊急事態宣言の解除は延期されたものの、１月以上見守り活動を休止することへの影響を懸念する声がボランティアから上がったことと、県内・市内の新規感染者数等を鑑み、緊急事態宣言解除前に活動を再開。

（３）「年末特別弁当」配食実績

実施日　１２月２２日（水）／２３日（木）／２８日（火）
※年内最後の配食日に実施
※本地丘のみ社協最終営業日に実施
配食数　１８１食
（内訳）火・木 実施学区１６３食
水 実施学区　１８食

年末特別弁当

（４）ボランティア数（令和４年３月末現在）

３５２名（男性：４９名、女性：３０３名）

（５）その他

① かわら版の発行（配食予定表）　年１２回
② ボランティアだよりの発行　年　３回
③ エコキャップ運動　年１３回

※ペットボトルのキャップを回収し、その売却益を世界の途上国の子どもたちへのワクチンチンとして届ける運動。本会では、ボランティアの協力のもと、集まったキャップを仕分けし、受入業者へ納品しています。

エコキャップ隊の活動

２　企画委員会等の開催

事業の円滑な運営と活動の質を向上させるために、給食ボランティア企画委員会、運転・添乗・仕分けボランティア打合会・研修会を二部制にして開催しました。

調理実習は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、開催を中止しました。

給食ボランティア研修会
「特殊詐欺防止講話」

■開催状況

事項	開催日	場所	参加者数等
企画委員会	毎月第１木曜日	アクロス小幡 共用会議室	企画委員　　6名
運転・添乗・仕分け ボランティア等打合会	４月２０日 １０月１９日	本会　研修室	運転等ボラ２３名
連絡員等打合会	４月２０日	本会 研修室等	連絡員　３６名
	７月２０日		
	１０月１９日		
	２月書面開催		
年末特別弁当配食 （手作りおせち弁当代替）	１２月２２日 １２月２３日 １２月２８日	給食実施学区	総配食数１８１食
調理実習	―	新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止	
給食ボランティア研修会	７月２０日	本会　研修室	守山警察による 特殊詐欺防止講話

６　ボランティア活動

１　ボランティアセンターの運営

ボランティアセンターの運営を通し、ボランティア活動に関する相談、情報提供及び地域住民や福祉施設などからのボランティア派遣の依頼に対して、需給調整を行いました。

（１）ボランティア活動の需給調整　　需給調整件数　１５５件

〈内訳〉

相談（依頼）者	
個人（本人）	１２８件
社協内他部署	９件
福祉施設等	１０件
地域住民・団体	８件
その他	０件

内容	
地域（在宅）生活支援	１１４件
見守り・話し相手・孤立防止	２件
移動・外出	８件
社会参加・交流	１件
趣味・教養	０件
施設ボラ運営系	２件
施設ボラ披露系	２７件
その他	１件

（２）登録ボランティア数

グループ･団体数	８８団体
個人登録者数	３８名

２　「守山区ボランティア連絡協議会」との連携

守山区におけるボランティア団体の連絡組織である「守山区ボランティア連絡協議会」（１８団体で構成）と連携し、ボランティア同士の交流を通したスキルアップや新たな仲間づくりからの担い手増等を目的とした、「ボランティア養成講座」や「ボランティアのつどい」は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、時短開催や、開催中止となりました。

（１）ボランティア養成講座

事　項	実施日・期間	場　所	参加者	備　考
夏休みボランティア 一日体験講座 ～防災について楽しく学ぼう!!～	8月2日	本会 研修室	９名	
やってみよう！手話 （全１２回）	（10月7日～ 12月23日） 中止	本会 研修室	１３名 申込	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
点字教室 （全１２回）	中止	－	－	

夏休みボランティア一日体験講座

ガラス飛散防止フィルム貼り体験

（２）ボランティアのつどい

開催予定日	備　考
１２月６日	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

（３）ボランティア保険の取扱い

種別	延べ加入件数	延べ加入人数
ボランティア活動保険	８９件	６５１名
ボランティア行事用保険	７８件	５，８０２名

３　障がい者団体や小・中学校・高校と連携した福祉教育の推進

ボランティアや障がい者団体等との協力のもと、区内小・中学校における車いす、手話、視覚障害、発達障害等の体験学習に協力しました。

また、名古屋市社会福祉協議会ボランティアセンターの指導に基づき、感染症対策チェックシート等を活用し、感染予防に細心の注意を払い実施しました。

（１）区内小学校・中学校　９件６校（小学校５校、高等学校１校）
内、２件中止、２校資材のみ貸出

（２）区内企業等　１件（資材のみ貸出）

実施日	学校名	対象	人数	内容	協力
１０月２０日	小幡北小	５年生	５３名	車いす体験お話会 （車いす利用者） ※Zoom 開催	ＡＪＵ自立の家 当事者講師１名 職員１名
１０月２６日	天子田小	５年生	５９名	手話体験 お話会（聴覚障害）	当事者講師２名 手話通訳２名
１０月２７日	緑丘高校	２年生	１６名	手話体験 お話会（聴覚障害）	当事者講師１名 手話通訳１名
１１月１２日	瀬古小	５年生	１３０名	お話会（発達障害） お話会（聴覚障害） 瀬古マザー園お話会 認知症サポーター養成講座	当事者講師３名 サポート職員等３名 守山区西部いきいき支援センター
２月２５日	小幡北小②	５年生	５３名	瀬古マザー園お話会 ※Zoom 開催	当事者講師１名 サポート職員等２名
５月２４日	ナーシングホーム寿々	－	－	高齢者疑似体験セット 資材のみ貸出	
９月２２日	森孝東小	５年生	－		
１１月１０日	本地丘小	４年生	－		
新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止	大森小	６年生	６９名	手話体験 盲導犬のお話会	
	下志段味小	４年生	１６３名	手話体験	

緑丘高校　手話体験学習

小幡北小 車いす利用者お話会

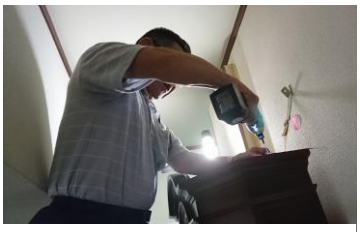
瀬古小 発達障害お話会

４　耐震留具取付サービス事業　　＊平成１７年度から開始

ひとり暮らし高齢者のいる世帯や障がい者のいる世帯等を対象に、地震に備えた家具耐震留具の取り付けを「防災ボラネット守山」と連携し実施しました。

【実施期間】　令和３年７月～令和４年３月

【施工件数】　３０件（施工累計件数８２８件）



耐震留具取付作業の様子

７　在宅福祉関係事業

１　通所介護事業（デイサービスセンター）の運営

運営にあたっては、利用者が安全で安心できる心地よいサービスを提供することに努めました。特に、利用者の身体機能の維持・向上とそれに伴う介護者の負担軽減化につながるプログラムを積極的に取り入れ実施いたしました。

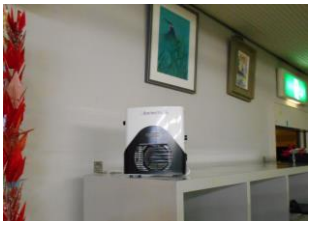
入念な新型コロナウイルス対策を行っていましたが、令和３年４月及び令和４年３月の２回利用者及び職員数名が感染していることが判明し、1～２週間営業が中止となりました。今後も消毒の徹底、デスクパーテーションの配置、デイルーム内と送迎車にオゾン発生器を設置するなど一層強化をした対策を行います。

コロナウイルス感染の影響（①本会のデイサービスの特徴として要介護２以下の利用者が全体利用者の８割以上を占め比較的元気な高齢者が多いが、コロナウイルス感染を恐れデイサービスの利用控え等が多いこと、②２回営業中止したこと）等により、一昨年度に引き続き、利用者が大幅に減っている状態が続いている。

■利用状況

	営業日数（日）	実利用人員（名）	延利用人数（名）	内　訳		一日平均人数（名）
				要支援	要介護	
令和３年度	297	595	5,426	824	4,602	18.2
令和２年度	322	608	6,065	814	5,221	18.8
増　減	▲25	▲13	▲639	10	▲619	▲0.6

新型コロナウイルス対策のため、卓上に「パーテーション」を設置



デイルーム内と送迎車内に、「オゾン発生器」を設置

２　市社会福祉協議会「守山区介護保険事業所」事業への協力

（１）居宅介護支援事業（令和４年３月の月間実績）

ケアプラン作成総件数	２２５件（予防給付ケアプラン　６７件含む）

【主な活動】

・高齢者いきいき相談室（いきいき支援Cブランチ型相談室）相談件数　８件
・「はち丸ネットワーク」（情報連携システム〔医療と介護の連携〕）への参画
・他法人との共同事例検討会参加（他 キャリアパス研修等実施）など
※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、変更や中止の研修等あり

（２）なごやかヘルプ（訪問介護）事業（令和４年３月の月間実績）

【提供サービス】

① 介護保険制度における訪問介護事業
② 障害者自立支援法における指定居宅介護事業
③ 家事介護サービス事業
④ 養育支援ヘルプ事業
⑤ 生活応援サービス事業

なごやかスタッフ登録者数	６５名

お客様の人数		１８９名
内訳	① 介護保険（介護給付）	８６名
	① 介護保険（予防給付）	５０名
	② 自立支援法	４３名
	③ ④ 措　置　等	１０名
	⑤ 生活応援サービス事業	１２名

【主な活動】

・初任者研修　実習生受入れ
・市社会福祉研修センター初任者研修等講師補助
・なごやかスタッフ研修　　年 14 回開催
（内容：倫理･感染症･認知症･身体介護他）
※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、集合形式の他、書面で開催
・なごやかスタッフサロン交流会
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
・サービス提供責任者キャリアパス研修
・なごやかスタッフ退職者による「ＯＧ会」
ボランティア啓発事業
（内容）外出ボランティア、社協実習生へ
介護体験を話す、ライ麦ストローづくり等

なごやかスタッフ退職者による
「OG 会」ライ麦ストローづくり

３　市社会福祉協議会「守山区東部いきいき支援センター」事業への協力

（１）総合相談受付実績

高齢者に関する様々な相談を受けとめ、適切な機関・制度・サービスへつなぐ等、課題解決に向けた継続な支援を行いました。

分　　類	実件数	延べ件数
虐待相談	２０件	１１７件
権利擁護関係	７件	２６件
消費者被害関係	１件	１２件
健康・福祉・介護等関係	１，７９０件	５，６７１件
合　　計	１，８１８件	５，８２６件

※その他出張相談実施　４回実施

（他８回実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止）

（２）認知症の方にやさしいまちづくりに向けた事業の実施

認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指し、地域住民への認知症に関する普及啓発を進める他、認知症の方やその家族が社会参加できる場づくりや社会基盤の整備を行いました。

事　項	実施日等	人　数	内 容 等
認知症サポーター向け情報誌発行	年２回	延べ ７７９名	サポーター活動の充実とスキルアップのための情報紙
認知症サポーターフォローアップ講座	8 月 4 日	２１名	（講師）ライフケアみおつくし 吉川浩三 氏
	1 月 18 日	１７名	（講師）愛知県認知症希望大使 内田豊蔵 氏
認知症サポーター養成講座	年 11 回	延べ ４２４名	（対象）一般市民、高校生、大学生、 行政　等
守山区 キャラバンメイト連絡会	①6 月 14 日 ②12 月 1 日 ③3 月 2 日	延べ５６名 (内、キャラバンメイト３９名)	認知症サポーター養成講座の質向上に向けたキャラバンメイト同士の情報共有 ＊第 1 回及び第 3 回はオンライン開催
守山区 認知症カフェ運営者連絡会	①8 月 20 日 ②11 月 3 日 他２回は書面開催	①10 名 ②15 名 (イベント参加者 50 名とその保護者や友人)	カフェの運営状況などの情報共有等 第１回はオンライン開催 第２回は拡大版として、小幡緑地で認知症理解のための普及啓発イベント事業を実施
出会いの会	年５回	延べ７７名 （内、本人は延べ３２名）	認知症の当事者の交流会 ＊他７回実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止
認知症講演会	10 月 29 日 ～ 11 月 4 日	劇場上映 ５５名 ｵﾝﾗｲﾝ上映 ７１名	映画「僕とケアニンとおばあちゃんたちと。」 劇場上映：10 月 29 日 ｵﾝﾗｲﾝ上映：10 月 29 日～11 月 4 日

認知症サポーターフォローアップ講座

認知症サポーター養成講座
（オンライン開催）

キャラバンメイト連絡会

認知症カフェ運営者連絡会拡大版

（３）認知症の方を介護する家族への支援事業

事　項	実施日	人　数	内 容 等
家族教室	年９回	延べ４７名	認知症の解説、支援制度の学習、認知症の方への関わり方の学習 ＊他１回実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止
家族サロン	年６回	延べ６４名	家族介護者同士の悩み相談、情報交換の場、リフレッシュのための交流会 ＊他６回実施予定であったが、新型コロナウイル ス感染拡大のため中止
もの忘れ相談医による専門相談	年１０回	延べ２０名	守山区医師会より「もの忘れ相談医」を派遣 ＊他２回実施予定であったが、新型コロナウイル ス感染拡大のため中止

（４）認知症初期集中支援チーム

チーム員会議	２２回
対応件数	２７件

（５）介護支援専門員への支援とネットワークづくり

介護支援専門員が関係機関と連携できる環境を整えるとともに、介護支援専門員間のネットワークづくりや資質向上に向けた取組みを実施しました。

事　項	実施回数	人 数	内 容 等
ケアマネ勉強会	３回	延べ １７０名	「相談者の心に届く援助者になろう」等 ＊他３回実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止
事例検討会	４回	延べ １１０名	「こだわりが強く、ゴミと思っていない人へのアプローチ」等 ＊他３回実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止
主任ケアマネ勉強会	１回	１００名	ファシリテーションにおけるロジカルシンキング　応用編
民生委員・ケアマネ連絡会	１回	２５名	志段味西学区にて実施
地域ケア会議	－	－	＊１回実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止

ケアマネ勉強会

主任ケアマネ勉強会

（６）介護予防の取り組み

幅広い年代層の地域住民を対象に運動習慣の動機づけを目的とした、介護予防教室「いこいこイオン」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、１２回予定のところ２回のみ開催しました。

（７）高齢者の見守り支援

ひとり暮らしの高齢者などが孤立状態に陥らないよう、地域における見守り活動を支援することを目的として取り組みました。「いきいきコール」では、ボランティアと協力して電話訪問活動を行いました。

守山区見守り支援事業パンフレット

① 見守り支援事業相談・通報件数

相談者 通報者	本人	民生委員	サービス 事業者	区役所	その他	合計
件数	１件	０件	０件	０件	１２件	１３件

② 電話訪問「いきいきコール」の実施状況

コールボランティア登録人数	５名
電話訪問利用者実人数	１６名
電話訪問実施延回数	９５０回

③ 名古屋市高齢者見守り支援事業の周知

介護支援専門員への支援とネットワークづくりとして当センターが実施している「志段味西学区民生委員ケアマネ連絡会」にて、名古屋市高齢者見守り支援事業の説明を行いました。

学区で見守り支援を行っている対象者数や近況について共有しました。

志段味西学区民生委員ケアマネ連絡会

④ 見守り支援事業者との連携協定（見守りあんしんプラス）

名古屋市中日会守山支部と東西いきいき支援センターが協定を結び、センターが把握する見守り対象者の一部の方に対して、区内の中日新聞販売店が新聞配達ルートの中で安否確認を行いました。

対象者（区内総数）	７人

（８）指定介護予防支援事業

給付管理数	１２，８４７件

４　車椅子 貸し出し事業

学校等での体験学習や外出等で一時的に必要とされる方に、原則７日を限度として車椅子の貸し出しを行いました。

椅子貸出し件数	６８件

８　生活福祉資金貸付事業

愛知県社会福祉協議会と協力し、経済的な自立や在宅福祉の向上を図るための資金貸付事業を行いました。

また、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響による休業や失業により生活にお困りの方を対象とした特例貸付事業を実施しました。

〈貸付相談・申請・決定件数〉

		貸付実績			
		相談（件）	申請（件）	決定（件）	決定額（円）
生活福祉資金	総合支援資金	1	0	0	0
	新型コロナ特例総合支援資金	2,550	996	1,046	563,180,000
	福祉資金（福祉費）	29	4	5	2,230,000
	福祉資金（緊急小口資金）	14	0	0	0
	新型コロナ特例緊急小口資金	1,356	545	527	102,150,000
	教育支援資金	10	0	0	0
	不動産担保型	4	0	0	0
	（小計）	3,964	1,545	1,578	667,560,000
臨時特例つなぎ資金		0	0	0	0
合　計		3,964	1,545	1,578	667,560,000

９　心配ごと相談事業　＊昭和２５年度から開始

法律や行政等の専門家が、日常生活での困りごとや悩みなどの相談を受ける「心配ごと相談事業」と、国で定める人権擁護相談及び行政相談とも連携し、毎月第２・第４木曜日に３相談事業（窓口）を同時に開設しました。

令和３年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「元気まつり」での出張相談会は中止となりました。

また、緊急事態宣言またはまん延防止等重点措置期間中の相談窓口開設を中止したことにより、実施日数が例年より減少しました。それにより、相談件数も前年度よりやや減少しました。

しかし、相談時間は増加しており、より一層、１人ひとりの相談に丁寧に対応していただきました。

「心配ごと相談員研究会」
精神障がいについて支援者・当事者から学ぶ

【実施日時】　毎週木曜日　１３時から１６時
【実施日数】　２３日　（前年度比▲９日）
【相談件数】　１５件　（前年度比▲１６件）
【相談時間】　平均５０分／１回
【相談員数】　１０名（他に、人権擁護委員５名・行政相談委員２名）

１０　在宅サービスセンターの運営

区内で活動する福祉団体やボランティア団体へ研修室や会議室、調理実習室等を貸し出しました。

新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言により貸し出し中止期間があり、例年より半分以下の利用となりました。

また、ボランティア連絡協議会をはじめ、各種ボランティア団体、地域住民とともに下記の事業に取り組みました。

「おもちゃ病院」修理の依頼受付

■年間利用状況

事　項	研修室	ボランティアルーム	録音室	点訳室	調理実習室	合　計
延利用団体数	321 団体	314 団体	69 団体	99 団体	137 団体	940 団体
延利用者数	2,975 名	1,975 名	187 名	137 名	595 名	5,869 名

■実施事業（本会主催の定例実施事業）

事業名	開催日	会　場　等
わいわいサロン（体操）	毎月第２金曜日	研修室
事業名	開催日	会　場　等
声の図書・録音テープ貸出し	毎月第２土曜日	ロビー
子ども点字教室	毎月第２土曜日	相談室
折り紙を楽しむ会	毎月第２土曜日	ボランティアルーム
手芸広場	毎月第４土曜日	ボランティアルーム
おもちゃ病院	毎月第４土曜日	ロビー
健康もりモリッス体操クラブ	毎月第４土曜日	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
みんなでうたいましょう	月１回	

１１　児童館・福祉会館の管理運営

１　守山児童館の管理運営

児童厚生施設である守山児童館の指定管理者（令和２年度～令和６年度）として、本会が管理運営を行いました。令和３年度は、年間を通してほぼ緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令され、ボランティア主催による事業を中止しました。ただし、本会主催によるクラブ活動、講師による事業については、感染防止に留意し実施しました。また、留守家庭児童クラブ(学童保育)に関しては、保護者の就労を支援するため開設しました。

【主な事業】

① 子ども育成活動
日常の遊びの支援、前・後期クラブ活動（将棋・囲碁・オセロ・図画・工作・卓球)、わんぱく森たんけん、クリスマスイベント(なぞとき)など多数の行事を実施

② 子育て支援活動
前・後期クラブ活動（親子体操・リトミック・英語 de あそぼう・つくってあそぼう)、お話会、など多数の行事を実施　　（※新規：英語 de あそぼう）

③ 移動児童館の開催
志段味地区会館（９回)・守山生涯学習センター（1 回）で実施

④ 子どもの自主性を育む活動
ゆめのシゴト(子ども達がやってみたい仕事を考え、「コンサート」「ファッションショー」「ゲーム屋」等)を実施。ライブ中継も行った

⑤ 中高生専用時間帯として「ナイター児童館★フレンドリータイム」の実施
（毎週金曜日・１７時～２０時)

⑥ 名古屋市中学生の学習支援事業の実施
（火曜日クラスおよび水曜日クラスの２クラス)

⑦ 高校生世代への学習相談支援事業の実施
対象：名古屋市中学生の学習支援事業を利用して進学した高校生

⑧ 食育活動の一環として「ハニット畑」でトマトやオクラなどの野菜を育て収穫した

⑨ 密集・密接を避けるため映像を活用した事業展開
Xmas で３密を避けるためサンタの登場を中止し、スマートフォンで職員が編集したサンタの映像を流れる形とした

英語 de あそぼう

ゆめのシゴト「コンサート」

２　守山福祉会館の管理運営

老人福祉施設である守山福祉会館の指定管理者（令和２年度～令和６年度）として、本会が管理運営を行いました。令和３年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用者である高齢者の命を最優先に考え、消毒や換気・加湿などの環境対策を行ったうえで、３密の発生しにくい一部事業のみを実施し、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発出期間中は閉館する対応を行ってまいりました。

（１）開館・閉館状況

令和３年度	4/20	7/11	8/8	9/30	1/21	3/21
まん延防止等重点措置・緊急事態宣言期間※	←措置・宣言→	開館	←措置・宣言→	開館	←措置→	開館
閉館期間	←閉館→		←閉館→		←閉館→	

※4/20～5/11 まん延防止等重点措置、5/12～6/20 緊急事態宣言、6/21～7/11 まん延防止等重点措置、8/8～8/26 まん延防止等重点措置、8/27～9/30 緊急事態宣言、1/21～3/21 まん延防止等重点措置

（２）開館中実施した主な事業（＊は閉館中も実施）

① 「やさしい書道」はじめ１０講座１３クラスの「趣味の講座」を開催
② 単発講座として運動系中心の「楽チャレ講座」及び文化系講座を毎月開催
③ 医師による健康相談、健康チェック・フレイルチェックを実施
④ 認知症予防事業として、認知症予防教室・認知症予防リーダー養成講座等を開催（リーダー派遣は中止）
⑤ 「守山福祉会館たより」、守山福祉会館公式ウエブサイト、インスタグラムによる情報発信（＊）
⑥ 中庭の一部を利用して菜園事業を展開（＊）

（３）中止した事業

① 自由参加部屋等の開放（囲碁将棋室・卓球室・児童館卓球）
② 入浴事業
③ 同好会等への部屋貸し
④ サロン・交流事業、発表会

ゆっくり筋トレ（趣味の講座）

認知症予防リーダー養成講座

１２　共同募金運動への協力

１　赤い羽根共同募金運動（１０月１日～１２月３１日）

【目標額】　１０，４１１，０００円
【実績額】　１３，２７５，１５１円（前年度比　2,863,800 円増）
※令和３年度は、区役所設置募金箱に匿名で 153,500,000 円の寄付があり、寄付者の意向を踏まえ、人口比で按分し守山区は 3,600,000 円受け入れました。

２　歳末たすけあい募金運動（１２月１日～３１日）

【目標額】　　５０７，０００円
【実績額】　　４９６，９７０円（前年度比　▲10,252 円）

３　赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール（書道・ポスター作品募集）

例年、区内の小・中学校生から応募のあった作品の中から優秀作品を選定し、区役所講堂で展示しておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、令和３年度は「優秀」に選ばれた作品を本会広報紙及びホームページへ、「佳作」に選ばれた作品をホームページへ掲載しました。

【応募数】　書道の部　　･･･　１，６６８点
　　ポスターの部　･･･　　３１１点
【学校からの推薦数】
　　書道の部　　･･･　　９８点
　　ポスターの部　･･･　　８５点
【優秀・佳作点数】
　　書道の部　　･･･ 優秀：１０点・佳作：１０点
　　ポスターの部　･･･ 優秀：１０点・佳作：１０点

４　街頭募金

地域福祉推進協議会等の地域関係団体やボランティアの協力により、区内各所で街頭募金を実施しました。

【回　数】　　２回
【実績額】　４１，４５８円

アピタパワー新守山店での
街頭募金活動（瀬古学区）

地域ボランティアひまわり・つなしょ主催
「おにぎりどうぞの会」活動の売り上げを
赤い羽根共同募金へご寄付いただきました